

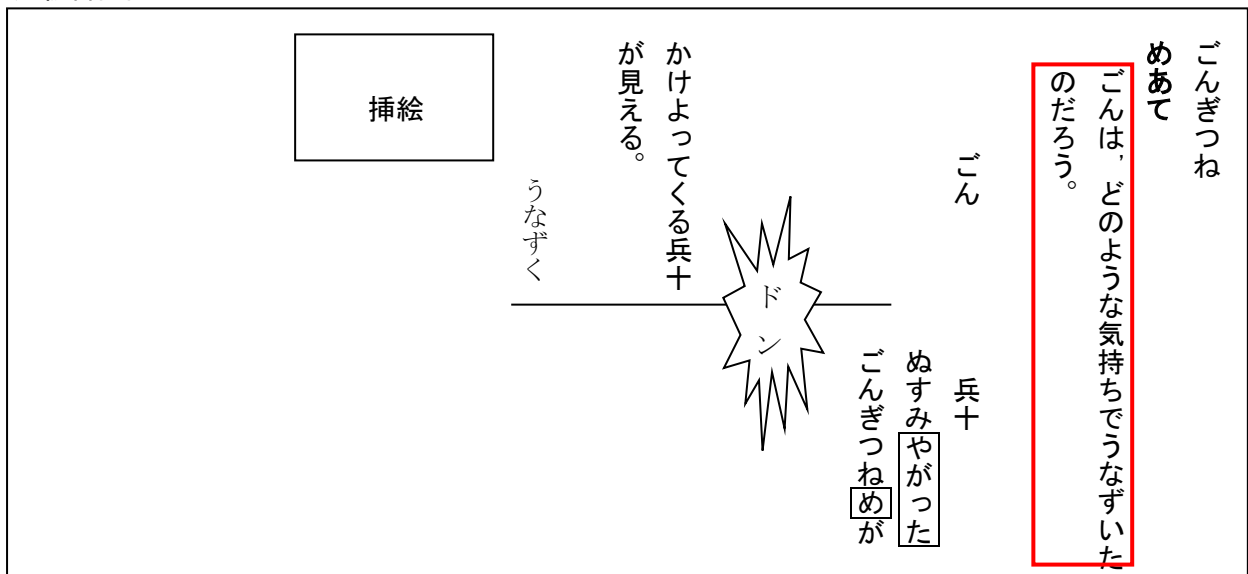
第4学年 国語科学習指導案

- 1 単元名 読んで感じたことや考えたことをまとめよう 「ごんぎつね」
- 2 本時の展開
- (1) 本時の目標
- 「ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。」の時に、ごんがどのようなことを考えていたのか、場面の移り変わりと結び付けて、叙述を基に読み取ることができる。
- (2) 準備物
各場面のごんの気持ち掲示
- (3) 読み取りの手法
色の対比と言葉の対比を主な視点とし、ごんの性格や気持ちの変化を読み取る授業
- (4) 学習の展開

学習段階	学習活動（発問は太字）	○指導上の留意点	☆評価規準 【方法】
1 学習課題の把握	<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">ごんはどのような気持ちでうなずいたのだろう。</p> </div>		
2 学習課題の追求	<p>2 学習場面（P46L14～P48L4）の範読を聞いたり、音読をしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範読（P46L14～P48L4）を聴く。 ・斉読（P46L14～P48L4）する。 ・指名読み（P46L14～P48L4）をする。 ・指名読み（P46L14～P47L8）をする。 ・斉読（P47L9～P48L4）する。 ・指名読み（P47L9～P48L4）をする。 <p>3 うなずいた時のごんの気持ちを考え、ノートに書く。 ○「ごんは、どのような気持ちでうなずいたのだろう。」</p> <p>①個人思考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗や松たけを毎日持ってきていたのがおれだって、兵十が気付いてくれた。おれと同じひとりぼっちの兵十と心が通じたんだ。 ・神様じゃなくておれがしていたことに気付いてくれて、うれしいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一つひとつの言葉を大切にしながら範読する。 ○やや速く、リズムよく読む。 ○音読の様子を肯定的に評価する。 ○キーワードとなる叙述について、ごんと兵十の行動や気持ちを全体で共有しながら、指名読みをする。 ○音読の範囲を狭めていき、発問の部分に意識を焦点化させる。 ○思考の焦点を明確にするため、発問となる一文「ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。」を繰り返し音読させる。 ○書く行数を4行と限定し、「なぜなら」という本文の叙述を根拠とした理由も書かせる。 ○既習の場面の叙述と結び付け、兵十と「思いが通じたうれしさ」や「友達になれた喜び」の思いを持ったごんの気持ちを書いている児童の考えを他の児童に聞こえる声でアナウンスする。 ○思考を書いている児童には、発表に自信が持てるよう丸をす 	<p>☆ごんの気持ちの変化と理由を、場面の移り変わりと結び付けて、文章を根拠に、具体的に表現している。</p> <p>【発言、ノート】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・兵十が、おれと同じひとりぼっちだと思うと、なんだかほっとけなかったんだよ。おれたち、似ているような気がして、仲良くなれそうに思っていたんだよ。おれの気持ちに通じたんだな。うれしいよ。 <p>②グループ</p> <p>③全体思考</p>	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○書くことが困難な児童には、教科書のごんの挿絵に吹き出しを描き、ごんが兵十に思いを伝えるように書いてみるよう声をかける。 ○グループで互いの考えを伝え合い、納得できるところや疑問に思う点を確認めながら、想像を広げることができるようにする。 ○全体交流の場では、意図的指名を行い、本時のねらいとする価値へと徐々に近づけるようにする。 	
3 まとめと振り返り	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>5 学習場面（P46 L14～P48 L4）を斉読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の考えを聞いて、自分の考えがどのように変化したのかを、振り返りで書かせる。 ○学習場面を斉読し、余韻を残して授業を終える。 	

(5) 板書計画



(6) 授業の主発問と評価基準

発問 「ごんはどのような気持ちでうなずいたのだろう。」		
評 価		予想される児童の反応例
A	ごんの気持ちの変化を、兵十の行動や場面の移り変わりと結び付けて、具体的に想像し、理由を明確にしながら、ごんの思いが記述されている。	○栗や松たけを毎日持ってきているのがおれだと気づいてくれたんだね。ひとりぼっちになった兵十は、おれといっしょだなと思って、友達になれそうな気がしていたんだ。いつもおれが兵十のことを気にかけて、ついて行ったり、のぞいたりして、それでも神様にお礼を言うなんて、そりゃないよと思ったけれど、今は兵十のほうからおれにかけよってきてくれて、うれしいよ。やっとおれの気持ちが通じたんだな。
B (規準)	ごんの気持ちの変化を具体的に想像し、理由を明確にしながら、ごんの思いが記述されている。	○栗や松たけを毎日持ってきているのがおれだということに気づいてくれたんだな。おれと同じひとりぼっちになった兵十を見て、おれとにているなと感じたんだ。だから兵十のことが気になって、ついて行ったり、のぞいたりしていたけれど、今日は兵十のほうから、おれにかけよってきてくれて、うれしいよ。
C	本時の学習場面から、ごんの気持ちを、理由を明確にして記述している。	○栗や松たけを持ってきたのがおれだということに、兵十が気付いてくれてうれしい。